

補助事業番号 2019M-063
補助事業名 2019年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

1 補助事業の概要

近年ヒトの活動空間におけるにおいへの関心が高まっており、利用者がさまざまなおいに対して敏感になっていることが課題となっている。そのため、食品や着香製品のにおい分析のみならず、工業製品においても自動車の内装品由来の樹脂臭や製品由来のゴム臭など、今まで問題として提起されなかったようなにおいに関するクレームや異臭分析の相談が増加している。しかし、このような工業製品のにおい分析を実施している公設試は少ないため、充分な支援が実施できていないのが現状である。

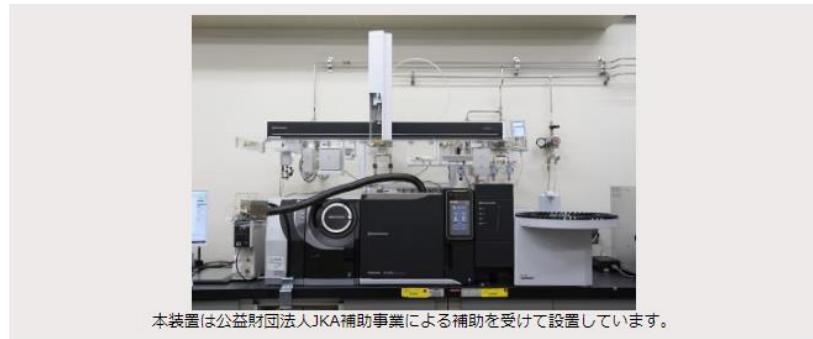
本補助事業により高感度・高分解能を有するにおい分析システムを導入することで、従来では解決に至らなかった高付加価値製品開発およびクレーム・異臭分析の解決を行う。これにより、中小企業の技術支援および製品開発支援へ貢献していく。

2 予想される事業実施効果

近年関心の高まっているにおい製品・環境に取り組む中小企業への支援を促進し、新産業の創出や産業の高付加価値化の実現を推進する。工業製品に関するにおい分野支援を先導し、全国公設試との交流会等を通じて普及に努め、中小企業支援の拡大へと発展させていく。

3 本事業により導入した設備

①におい分析システム



(URL) <https://www.iri-tokyo.jp/setsubi/sumida-nioi-analysis.html>

設置場所 :【地方独立行政法人東京産業技術研究センター墨田支所】

②本事業に係る印刷物等

(1) 東京都立産業技術研究センター広報誌TIRI News 2020年3月号掲載予定

(URL : <https://www.iri-tokyo.jp/site/tiri-news>)

(2) 墨田支所事業案内



墨田支所事業案内における、導入機器の紹介欄

(3) 機器紹介ポスター・パネル

東京都立産業技術研究センター
「におい」分析システム
-におい噴き付トリプル四重極型ガスクロマトグラフ質量分析計-

生活技術開発センター TEL 03-3624-3731 FAX 03-3624-3733

特徴

- 揮発成分の分析ができます
- におい噴きシステムにより、においに寄与する揮発成分が特定できます
- 異臭分析に特化したシステムを搭載しています。

ガスクロマトグラフ質量分析計(GC/MS)において噴きボートを搭載した「におい分析システム」は、装置で検出した揮発成分のうち、においに寄与している成分をにおい噴霧にて確認できるシステムです。クーム分析や異臭分析に特化した装置です。

主な仕様

項目	内容
型式	GCMS-TQ8050 NX
製造元	日本分光株式会社
検出部	トリプル四重極型質量計
イオン化	電子オイシ化法 (EI法)
試料導入法	液体注入法 (HS, ITEX) 固相マイクロ抽出法 (SPME Arrow) 空気脱脂法 (TD)
付属品	におい噴きボート

料金の一例

依頼試験項目	中小判金	一般料金
ガスクロマトグラフ質量分析計による異臭分析 (1試料)	\$13,610	\$19,080
試料代着手数料 (1試料)	\$5,540	\$5,540

その他詳細については、福島までお問い合わせ下さい。

活用事例

- 異臭分析、クーム解析
- においに寄与する成分の特定

【解説】

これは実験結果で得られた結果です。上段は異臭品目で抽出された揮発成分を示す。下段ににおい測定結果を示してあります。日本の廻所の異臭品目由来の異臭をヒドリ嗅覚にて検知しています。これにより、この成分が異臭に寄与しているか確認できます。

図1 におい噴きGOMSによる測定結果
上段: GOMS(ABTC)、下段: におい噴きによるプロファイル

導入機器設置研究室の入り口に設置

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（チホウドクリツギョウセイホウジントウキヨウトリツサンギョウギジュツケンキュウセンタ）

住所： 〒135-0064

東京都江東区青海2-4-10

代表者： 理事長 奥村次徳（オクムラ ツグノリ）

担当部署： 経営企画室（ケイエイキカクシツ）

担当者名：副主任研究員 濵谷 孝幸（シブヤ タカユキ）

電話番号：03-5530-2536

E-mail：shibuya.takayuki@iri-tokyo.jp

U R L：<https://www.iri-tokyo.jp/>